

「水辺の環境活動プラットフォーム」に会員登録いただきありがとうございます。

環境省では、水辺・海辺について、これまでの「保全」に加え、「活用」の観点も重視した新たな政策を進めています。本プラットフォームでは、良好な水環境等の保全・活用に関する行政・企業・団体の様々な情報を月1回程度メールマガジンでお届けします。

また、環境省環境創造室の「公式SNS（Facebook、X、Instagram）」を開設しました！🌈

公式 SNSでは、良好な環境に関することや環境創造室が取り組んでいる業務等をより身近に、タイムリーにお届けしていきますので、ぜひフォローをお願いします！

---*◆水辺の環境活動PFメールマガジン*◆◇第5号《号外》*◇*-----

- 【1】「良好な環境を活用した観光推進ウェビナー」を開催します（日時決定）！《事務局》
- 【2】第37回「星空の街・おおぞらの街」全国大会が開催されます！《北海道・美瑛町》
- 【3】名水百選選定自治体による「名水サミットinはだの」が開催されます！《全国水環境保全市町村連絡協議会》
- 【4】「令和7年度里海づくりセミナー ～加速する地球温暖化へのアクション！藻場の創造とブルーカーボン～」を開催します！《環境省四国事務所》
- 【5】関西SDGsプラットフォーム「ローカルSDGs・脱炭素分科会」第7回イベント 身近な自然資本を持続可能な地域づくりに活かすには？～地域全体で取り組むネイチャーポジティブ～（オンラインあり）《環境省近畿地方環境事務所》

【1】「良好な環境を活用した観光推進ウェビナー」を開催します（日時決定）！

「良好な環境」の観光活用について関心を持たれている、または環境省との連携をお考えの方々に向け、令和7年度より実施している「良好な環境を活用した観光モデル事業（以下、「モデル事業」）」の実施状況等について、ご紹介するウェビナーを開催いたします！詳細についてご連絡いたします。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております（事前申込制）！

■ 良好な環境を活用した観光推進ウェビナー

【日時】令和7年11月11日（火）10:30～12:00

【形式】オンライン（Webex）／参加費無料

【対象】どなたでも（特に、地方公共団体、観光地域づくり法人（DMO）、観光事業者、NPO 等の方は歓迎）

【定員】上限なし／事前申込制

【プログラム（予定）】

1. 事業概要

（環境省水・大気環境局 環境創造室長から）

2. モデル事業実施団体の取組事例紹介

（登壇者：阪南市、大宜味村観光協会）

3. モデル事業実施団体×環境省+α（トークセッション）

4. 水辺の環境活動プラットフォームについて

5. 質疑応答

6. その他（今後の予定など）

※プログラムは変更の可能性があります。詳細が決まり次第、以下の環境創造室公式Facebook、Instagramにて順次発信してまいります。

・ Facebook：<https://www.facebook.com/KankyoQOL>

・ Instagram：<https://www.instagram.com/kankyoryoko/>

※質疑の状況次第で終了時間が前後する場合があります。

<こうした方におすすめ>

- ・ 自地域の自然資本を磨き上げ、環境の保全と活用の好循環を図りたい
- ・ モデル事業・候補地域の具体的な支援内容を知りたい／横連携を進めたい

【お申込み】

以下のWEBフォームより、前日11月10日（火）の12:00までにお申し込みください。参加URLはメールでご案内します。

<https://www.club-t.com/fm/pub/common/tourismprom-entry>

【問い合わせ先】

事務局：クラブツーリズム株式会社

E-mail：ryouko-kankyo@club-t.com

(送信の際は「◎」を「@」に置き換えてください。)

▽詳しくはこちら👉

https://www.env.go.jp/press/press_01284.html

※良好な環境を活用した観光モデル事業：

環境省では、豊かな水辺、星空、音の風景等、地域特有の自然や文化の保全が行われてきた地域において、インバウンド誘客に資する自然資本の磨き上げとその利活用に取り組み、「良好な環境」を活用したインバウンド観光の推進を図ることを目的としたモデル事業を令和7年度から実施しています。

【2】第37回「星空の街・あおぞらの街」全国大会が開催されます！

「星空の街・あおぞらの街」全国大会は、郷土の環境を活かした地域おこしの推進と大気環境保全意識の高揚を図ることを目的として開催されています。

第37回目となる今年は、北海道美瑛町において「星降る美瑛、未来へつなぐ青空の約束」を大会テーマとして開催されます。

【日時】令和7年10月25日（土）～26日（日）※26日はエクスカージョンのみ

【会場】美瑛町民センター 美丘ホール（〒071-0208 北海道上川郡美瑛町寿町2-3-13）

【主催】環境省、北海道、「星空の街・あおぞらの街」全国協議会（主管：美瑛町）

【プログラム】

- ・ 歓迎アトラクション
- ・ 式典、挨拶、表彰式（環境大臣賞、全国協議会長賞）
- ・ 星空・あおぞら報告会
- ・ 記念講演 丘のまち郷土学館「美宙」MISORA天文台名誉台長
理学博士（理論物理学） 佐治 晴夫

▽詳しくはこちら👉

美瑛町 <https://town.biei.hokkaido.jp/life/environment/hoshizoraaozora/>

環境省 https://www.env.go.jp/press/press_00849.html

▽お問い合わせ👉

「星空の街・あおぞらの街」全国協議会（美瑛町役場住民生活課）

TEL：0166-92-4294 Mail：hoshizora.aozora@town.biei.hokkaido.jp

【3】名水百選選定自治体による「名水サミットinはだの」が開催されます！

環境省から名水百選に選定された自治体が加盟する「全国水環境保全市町村連絡協議会」では、毎年、地域づくりの推進や水の重要性の周知を目的に全国大会及びシンポジウム（名水サミット）を開催しています🌟

今年は市制施行70周年を迎える神奈川県秦野市が開催地となり「名水というのには訳がある」をテーマに、名水を育む地

【日時】令和7年11月8日（土）12時50分～17時00分

【会場】メタックス体育館はだの（〒257-0015 神奈川県秦野市平沢101-1）

【参加費】無料

【申込方法】以下URLからお申込み下さい。※当日参加も可能です。

<https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142115-u/offer/userLoginDispNon?tempSeq=108252&accessFrom=>

【プログラム】

- ・ オープニングアクト（オカリナ演奏）
- ・ 開会宣言（長崎県島原市長）
- ・ 協議会会長あいさつ（神奈川県秦野市長）
- ・ 来賓祝辞（環境省・神奈川県）
- ・ 名水紹介（秦野名水名人講・秦野市環境共生課）
- ・ 基調講演①「秦野盆地の地形と成り立ち」
（平塚市博物館 野崎 篤 学芸員）
- ・ 基調講演②「秦野盆地の地下水流動の特徴」
（神奈川県温泉地学研究所 宮下 雄次 所長）
- ・ 基調講演③「秦野市の土壌・地下水汚染と浄化対策」
（横浜国立大学大学院 小林 剛 教授）
- ・ 基調講演④「秦野名水ー地下水ガバナンスの視点から」
（大阪公立大学大学院 遠藤 崇浩 教授）

- ・基調講演⑤「ホットケない！源流域の淡水魚～湧き水が育むホトケドジョウ～」
(かながわ淡水魚復元研究会 勝呂 尚之 会長)
- ・パネルディスカッション「名水というのには訳がある」
(小林教授、宮下所長、立石純子、南足柄市長、山北町長、秦野市長)
- ・大会宣言(山形県西川町長)

▽詳しくはこちら👉

<https://meisuisummit.my.canva.site/>

▽お問い合わせは全国水環境保全市町村連絡協議会事務局(神奈川県秦野市環境共生課)まで👉

TEL: 0463-82-9618 Mail: k-kyousei@city.hadano.kanagawa.jp



【4】「令和7年度里海づくりセミナー～加速する地球温暖化へのアクション！藻場の創造とブルーカーボン～」を開催します！

環境省四国事務所では、地球温暖化に伴う水温上昇等によって藻場の衰退・消失が進んでいる中、「加速する地球温暖化へのアクション！藻場の創造とブルーカーボン」と題し、水産資源や生物多様性豊かな海づくりと地球温暖化対策への貢献に向けて、藻場の保全・再生・創出の活動が活発化し、藻場の拡大を図ることを目的に、12月17日(水)に松山市において「令和7年度里海づくりセミナー」を開催します。

- ◆日 時 2025年12月17日(水)13:00～16:00(開場12:30)
- ◆場 所 松山市男女共同参画推進センター 大会議室(松山市三番町6丁目4番地20)
※会場開催のみとなります
- ◆定 員 100名(どなたでも無料で参加できます)

▽お申込みはこちらから

<https://forms.gle/rgz7Z64sAJcxHLBUA>

▽詳しくはこちら

https://chushikoku.env.go.jp/shikoku/topics_00077.html



【5】関西SDGsプラットフォーム「ローカルSDGs・脱炭素分科会」第7回イベント 身近な自然資本を持続可能な地域づくりに活かすには？～地域全体で取り組むネイチャーポジティブ～(オンラインあり)

この度、関西SDGsプラットフォーム「ローカルSDGs・脱炭素分科会」の第7回イベントを開催します。

気候変動や開発の影響で生物多様性が失われる中、日本でも「30by30目標」に向けた制度が動き始めています。しかし環境保全活動の現場では高齢化や人材不足といった課題から、その活用が十分に進まないのが実情です。本企画では、自治

前半では、自治体による自然再興や産官学民の連携、非営利活動における寄付活用のポイントなど、多様な実践事例を4つご紹介いただきます。さらに登壇者によるトークセッションを通じて、それぞれの取組をつなぎ合わせ、地域からネイチャーポジティブを実現する道筋を探ります。後半では、近畿で活用できるネットワークや制度を紹介した後、参加者を交えたグループディスカッションを行います。本回を経て参加者の皆さんが次の活動につながるようなヒントを得るきっかけを目指します。

- ▽お申込みはこちらから (×10月21日 (火))

▽詳しくはこちら

https://kinki.env.go.jp/topics_00073.html

[illegible]

水辺の環境活動プラットフォーム事務局
info@mizubekankyo.env.go.jp